

第14回大気化学シンポジウム プログラム

2004年1月7日 水) - 9日 金)

(12月18日現在)

豊川市民プラザ

主催: 名古屋大学太陽地球環境研究所、大気化学研究会

協賛: 地球電磁気・地球惑星圏学会、日本化学会、日本気象学会、日本地球化学会、日本エアロゾル学会、大気環境学会

1月7日 水)

			座長: 北和之(茨城大理)	
13:00	13:20	0:20	2003年秋季利尻集中観測: 概要と初期成果	○ 金谷有剛・曹仁秋・秋元肇(地球フロンティア)、谷本浩志・佐藤啓市・Bin Qi・横内陽子(国立環境研)、磯崎涼子・宮川祐子・西山綾香・林一郎・定永靖宗・松本淳・加藤俊吾・梶井克純(東京都立大)、奥田知明・加藤潤・森淳哉・天目真樹・里泰志・横地玲・田中茂(慶應大・理工)、駒崎雄一(東大先端研)持田陸宏・河村公隆(北大低温研)
13:20	13:40	0:20	化学摂動法を用いた OH ラジカル大気寿命測定	○ 定永靖宗(科学技術振興機構、都立大院工)、吉野彩子、吉岡篤史、渡邊敬祐、若園陽子(都立大工)、加藤俊吾(科学技術振興機構、都立大院工)、宮川祐子、林一郎、市川雅子(都立大工)、松本淳(科学技術振興機構、都立大院工)、西山綾香、秋山成樹(都立大工)、金谷有剛(地球フロンティア)、梶井克純(都立大院工)
13:40	14:00	0:20	ポーカークラフトFTSで観測した対流圏COの季節変動とその要因	○ 笠井康子(CRL)、香川晶子(FujitsuFIP)、遠藤真紀(東大・理)、Nicholas B. Jones (Univ. of Wollongong)、村山泰啓(CRL/NIPR)、Frank J. Murcray (Univ. of Denver)
14:00	14:20	0:20	南極氷床コア中の塩化メチルの測定	○ 斉藤拓也(学振、環境研)、横内陽子(環境研)、青木周治、中澤高清(東北大)
	休憩	0:15		
			対流圏特別セッション「大気化学からガイア仮説を検証する」、座長: 横内陽子	
14:35	14:45	0:10	はじめに	横内陽子(国立環境研)
14:45	15:30	0:45	大気中メタンスルホン酸の長期変動(招待)	向井人史(国立環境研)
15:30	16:15	0:45	大気を通してみる地球システムの変化(招待)	植松光夫(東大海洋研)
	休憩	0:15		
			座長: 梶井克純(都立大院工)	
16:30	16:50	0:20	春季西太平洋域で観測された自由対流圏中での人為起源物質の増大(その2) PEACE-B航空機観測	○ 大島 長、小池 真、中村 尚(東大理)、近藤豊、竹川暢之、宮崎雄三(東大先端研)、D.R.Blake(University of California-Irvine)、白井知子(JAXA/EORC)、北 和之(茨城大理)、川上修司、小川利紘(JAXA/EORC)
16:50	17:10	0:20	3-5月のタイでの対流圏オゾン増大とその要因	○ 北 和之、佐藤弘樹(茨城大理)、荻野慎也(神戸大自然)、東永祥、鎌田義紀(東海大理)、清水厚、杉本伸夫(国立環境研)
17:10	17:30	0:20	全球3次元エアロゾル輸送・放射モデルを用いたエアロゾル直接・間接効果による気候応答の解析	○ 竹村俊彦(九大応力研)・野沢徹(環境研)・江守正多・久芳奈遠美(地球フロンティア)・黒川純一(富士通FIP)
17:30	17:50	0:20	東アジアにおける炭素粒子動態のモデル解析	○ 谷本直隆、大原利真(静岡大)、鶴野伊津志(九州大)、菅田誠治(国立環境研)
17:50	18:10	0:20	奄美大島でAPEX総合観測期間中に測定した大気エアロゾルの化学組成と発生源推定および光学的特徴	○ 鶴田治雄(東京農工大・非常勤)、須藤重人・米村正一郎(農環研)、白砂裕一郎・平野耕一郎(横浜市環科研)、世良耕一郎(岩手医大)、二ツ川章二(日本アイソトープ協会NMCC)、前田高久・兼保直樹(産総研)、竹内延夫・高村民雄(千葉大)、中島映至(東大気候システム研究センター)

18:10	18:30	0:20	南北太平洋上における累積領域の硫酸塩エアロソルの生成過程 - 白鳳丸 KH01-3次航海の結果 -	○大木淳之(北大地球環境)、植松光夫(東大海洋研)
-------	-------	------	---	---------------------------

18:30	19:30	1:00	大気化学研究会運営委員会	
-------	-------	------	---------------------	--

1月8日(木)

			座長: 谷本浩志(国立環境研)	
9:00	9:20	0:20	黄砂現象の相対湿度へ及ぼす効果	○牧田広道・山口薫(鳥取地方気象台)
9:20	9:40	0:20	単一粒子レーザーイオン化質量分析装置による黄砂粒子の化学組成分析	○松見豊、鈴木崇文、西田哲、高橋けんし(名大STE研)、杉本伸夫、松井一郎(国立環境研)、近藤豊(東大先端研)
9:40	10:00	0:20	三次元大気質モデルによる都市域のSPM濃度予測	○竹川秀人 箕浦宏明(豊田中央研)
10:00	10:20	0:20	エアロゾル測定方法の相互比較による性能評価	○近藤 豊、竹川暢之、駒崎雄一、宮崎 雄三(東大先端研)、河村 公隆(北大低温研)、小池真(東大理)
10:20	10:40	0:20	Thermal-Optical法による都市大気中のOC/EC観測	○駒崎雄一、近藤 豊、竹川暢之、野上道守、茂木信宏(東大先端研)
	休憩	0:20		
			座長: 小池真(東大院理)	
11:00	11:20	0:20	質量分析計で観測された都市大気エアロゾル構成比の季節変動	○竹川暢之、近藤豊、駒崎雄一、宮川拓真(東大先端研)、Jose-Luis Jimenez(University of Colorado)、John T. Jayne、Douglas R. Worsnop(Aerodyne Research Inc.)
11:20	11:40	0:20	PILS-ICによって観測された都市大気中の硝酸塩粒子の生成	○宮崎雄三、近藤豊(東大先端研)、Rodney J. Weber(Georgia Institute of Technology)、竹川暢之、駒崎雄一、宮川拓真、野上道守(東大先端研)
11:40	12:00	0:20	エアロゾル熱力学平衡モデル ARIES(AeRosols In an Equilibrium State)の構築	○入江仁士(環境研)、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之(東大先端研)、北和之(茨城大)、宮崎雄三、森野悠(東大先端研)
12:00	12:20	0:20	都市大気中における硝酸、および硝酸塩エアロゾル濃度の挙動に関する研究	○森野 悠、近藤 豊、駒崎雄一、竹川暢之、宮崎雄三、茂木信宏、宮川拓真(東大先端研)、北和之(茨城大理)、廣川 淳(北大地球環境)
	昼食	1:10		
			成層圏特別セッション「対流圏から見た成層圏・成層圏から見た対流圏」、座長: 笠井康子	
13:30	13:40	0:10	はじめに	笠井康子(通総研)
13:40	14:20	0:40	成層圏化学のフィルターを通して見た対流圏プロセス 招待)	今村隆史(国立環境研)
14:20	15:00	0:40	対流圏オゾン化学における成層圏オゾンの役割とその変動過程(招待)	○須藤 健悟(地球フロンティア)、高橋正明(東大・気候センター)、秋元肇(地球フロンティア)
15:00	15:40	0:40	熱帯対流圏界面・遷移層(招待)	塩谷雅人(京大宙空電波セ)
15:40	16:20	0:40	トラジェクトリ解析からみた熱帯対流圏から成層圏への水蒸気輸送 招待)	山崎孝治(北大院地球環境)

16:20	17:00	0:40	大気化学研究会会員総会	
-------	-------	------	--------------------	--

17:00	19:00	2:00	ポスターセッション1	全ポスター掲示、(奇数番号主に説明)
-------	-------	------	-------------------	--------------------

19:00	21:00	2:00	懇親会	
-------	-------	------	------------	--

1月9日(金)

			座長: 杉田考史(国立環境研)	
8:40	9:00	0:20	N2OとO(1D)の反応によるO(3P)生成とその成層圏化学に与える影響	○西田哲、高橋けんし、松見豊(名大院理、名大STE研)、谷口のり、林田佐智子(奈良女子大学)

9:00	9:20	0:20	HO2 ラジカル自己不均化反応・水添加効果	○戸野倉賢一・菅野望・須崎光太郎・手崎衆・越光男(東大環安セ・東大院工)
9:20	9:40	0:20	子午面輸送方程式による対流圏・成層圏オゾン輸送特性の解析	○宮崎和幸、岩崎俊樹(東北大院理)、柴田清孝(気象研)
9:40	10:00	0:20	2003年8月アラスカ・フェアバンクスオゾンゾンデキャンペーン観測に見られた上部対流圏・下部成層圏オゾン変動	○山森美穂・村山泰啓(通信総合研究所)・柴崎和夫(國學院大)・村田功・宮崎和幸・岩崎俊樹(東北大理)・竹谷文一・中山智喜・松見豊(名大STE研)・池田奈生・林田佐智子(奈良女大)
10:00	10:20	0:20	ポーカークラフト高分解能赤外分光計で観測した成層圏大気微量成分の季節変動	○香川晶子(富士通FIP/CRL)、笠井康子(CRL)、神代剛(富士通FIP/CRL)、村山泰啓(CRL/NIPR)、Frank J. Murcray (Univ. of Denver)
	休憩	0:20		
			座長: 村田功(東北大院環境)	
10:40	11:00	0:20	ILAS-IIによる初期観測結果について	○中島英彰、杉田孝史、入江仁士、寺尾有希夫、斎藤尚子、江尻省、田中智章、横田達也、笹野泰弘(国立環境研)
11:00	11:20	0:20	ILASで観測されたCIONO2に基づくNOy, Cly分配推定	○林田佐智子、池田奈生、戸田庸子(奈良女子大)、中島英彰(国立環境研)
11:20	11:40	0:20	大気大循環モデル中のオゾン場に見られる北半球夏季の波動成分について	○河本 望(JAXA/EORC)、廣岡俊彦(九大院・理)、秋吉英治(環境研)、渡辺真吾(地球フロンティア)
11:40	12:00	0:20	気象研究所化学輸送モデルにおけるCTMとGCMの疎結合について	○柴田清孝、出牛真、関山剛(気象研)
	昼食	1:10		
			座長: 林田佐智子(奈良女大)	
13:10	13:30	0:20	N2O distribution in the early and late Arctic vortex breakup years	○L. B. Zhou、秋吉英治(国立環境研)
13:30	13:50	0:20	臭素化合物のオゾン破壊に及ぼす影響と北極渦の状態	○秋吉英治、今村隆史、菅田誠治、中根英昭(国立環境研)、黒川純一(富士通FIP)、滝川雅之(地球フロンティア)
13:50	14:10	0:20	北極成層圏の脱室を引き起こす微物理過程: 液滴表面で起きる核形成の役割	○入江仁士(環境研)、K.L. Pagan (San Francisco State Univ.)、A. Tabazadeh (NASA Ames)、M.J. Legg (Bay Area Environmental Res. Inst.)

14:10	16:10	2:00	ポスターセッション2	全ポスター掲示(主に偶数番号説明)
-------	-------	------	-------------------	-------------------

番号	ポスター発表	
1-12	海洋大気エアロゾル組成の変動と影響予測(VMAP)の総括	○植松光夫(東大海洋研)
13	秋季の東シナ海における大気エアロゾルの化学的特徴	○中村篤博(東大海洋研) 松本潔(神奈川大工) 植松光夫(東大海洋研)
14	東部太平洋における大気エアロゾルの化学的特徴 - 白鳳丸KH03の1次航海 -	○遠藤真紀、中村篤博(東大海洋研)、三浦和彦(東京理科大)、植松光夫(東大海洋研)
15	太平洋赤道域における洋上大気中低分子量非メタン炭化水素の観測	○奈良英樹 ^{1,2} 、吉田尚弘 ^{1,2,3} (1東工大院総理工、2科学技術振興機構、3東工大フロンティア)
16	カムチャツカ半島・ウシュコフスキーアイスコア中のレボグルコサン	○伊澤祐輔(北大地環研)、河村公隆、白岩孝行(北大低温研)
17	2003年秋季利尻集中観測: エアロゾル中微量金属及び水溶性イオン成分濃度の測定	○奥田知明、加藤潤、森淳哉、天目真樹、里泰志、横地玲、田中茂(慶應大・理工)
18	2003年秋季利尻集中観測: ペルオキシラジカル濃度測定	○磯崎涼子(都立大院工)、定永靖宗、松本 淳(科学技術振興機構)、西山綾香(都立大院工)、加藤 俊吾(科学技術振興機構)、宮川 祐子(都立大院工)、佐藤啓市、谷本 浩志(環境研)、金谷 有剛(地球フロンティア)、梶井克純(都立大院工)

19	2003年秋季利尻集中観測:PTR-MSによるOVOCの測定	○宮川祐子(都立大)、加藤俊吾(科技構)、梶井克純(都立大)
20	2003年秋季利尻集中観測:光解離コンバータを用いた窒素酸化物計の相互比較実験	○佐藤啓市、谷本浩志(国立環境研究所)、曹仁秋、金谷有剛(地球フロンティア研究システム)
21	2003年秋季利尻集中観測:GC-FIDおよびGC-MSによるVOCの測定	○加藤俊吾(科技構)、林一郎(都立大)、宮川祐子(都立大)、梶井克純(都立大)
22	2003年秋季利尻集中観測:OH、HO ₂ ラジカル濃度の測定	○金谷有剛・曹仁秋・秋元肇(地球フロンティア)
23	2003年秋季利尻集中観測:オゾン・一酸化炭素・黒色炭素の測定とモデル比較	○谷本浩志、佐藤啓市、Jiye Zeng(国立環境研)
24	2003年秋季利尻集中観測:NO _x -O ₃ -RO ₂ 光化学定常状態の検討	金谷有剛(地球フロンティア)、谷本浩志・佐藤啓市(国立環境研)、磯崎涼子・宮川祐子・○西山綾香・定永靖宗・松本淳・加藤俊吾・梶井克純(東京都立大)
25	BrO ラジカルのエアロゾルへの取り込みとそれに続く液相反応:臭素化学活性化、臭素酸生成、SO ₂ 酸化	○豊田賢二郎、高橋正明、秋元肇(地球フロンティア、東大CCSR)
26	富士山頂におけるSO ₂ 濃度	○五十嵐康人(気象研地球化学)、澤庸介(気象研地球化学)、吉岡勝廣(島根県)、松枝秀和(気象研地球化学)、藤井憲治(KANSO)、土器屋由紀子(江戸川大)
27	富士山頂におけるLPC観測とモデルによる再現～その1 2003年春季黄砂～	○高橋 宙、五十嵐康人(気象研)、土器屋由紀子(江戸川大)、渡辺幸一(富山県立大)、田中泰宙(気象研重点支援員)
28	富士山頂におけるLPC観測とモデルによる再現～その2 2003年春季ロシア森林火災～	○高橋 宙、五十嵐康人(気象研)、土器屋由紀子(江戸川大)、田中泰宙(気象研重点支援員)
29	黄砂粒子へのSO ₂ の乾性沈着における影響因子の検討	○高田尚枝、関口和彦、坂本和彦(埼玉大・院理工)
30	エアロゾル質量分析計を用いたAPEX期間中の大気エアロゾルの観測	○三好猛雄(環境研)、高見昭憲(環境研)、下野彰夫(三友プラントサービス)、畠山史郎(環境研)
31	中国における航空機観測によって測定された大気汚染物質	○畠山史郎、高見昭憲(国立環境研)、王璋、湯大綱(中国環境科学研究院)
32	大気中非メタン炭化水素類、ハロカーボン類の分布の季節変化- PEACE航空機観測の結果より -	白井知子(EORC/JAXA)、PEACEサイエンスチーム
33	窒素酸化物のTrans-Pacific輸送経路と化学組成	○宮崎雄三、近藤豊(東大先端研)、R. Hudman, D. J. Jacob (Harvard University)、小池真(東大理)、竹川暢之(東大先端研)
34	西部太平洋域における光化学オゾン生成に対する大陸起源物質の影響	中村憲司、近藤豊(東大先端研)、G. Chen (NASA)、R. Hudman、D. Jacob (Harvard Univ.)、小池真(東大院理)、北和之(茨城大理)、竹川暢之、宮崎雄三(東大先端研)、他PEACEサイエンスチーム
36	オゾンゾンデ観測による対流圏オゾンのインドシナ域から東・東南アジア域への輸送の研究	○佐藤弘樹、北和之(茨城大理)、荻野慎也(神戸大自然)、東永祥、鎌田義紀(東海大理)、鶴田治雄(東京農工大)、米村正一郎、須藤重人(農業環境研)、Leong Chow Peng (Malaysian Meteorological Service)、Chuen-Yu Chan (The Hong Kong Polytechnic University)
37	SHADOZオゾンゾンデデータに基づく熱帯域の対流圏オゾン増大現象の出現傾向とその成因	○林ひとみ、北和之(茨城大理)、富川喜弘、佐藤薫(極地研)、小川利紘、川上修司(JAXA/EORC)、Slamet Saraspriya、Agus Sripto、Ninong Komala (LAPAN, Indonesia)

38	マレーシア半島のタナラタ測定局で測定された大気エアロゾルの化学組成とバイオマス燃焼による影響	○ 鶴田治雄(東京農工大、非常勤)、須藤重人(農環研)、Leong Chow Peng (MALaysian Meteorological Service, MMS)、Khairul Najib Ibrahim (MMS)、Irene Eu Swee Neo
39	中国におけるオゾン・一酸化炭素観測プロジェクト:計画及び最新の結果 Ozone and carbon monoxide monitoring project in China: Plan and the latest results	○ ポチャナート パクポン(地球フロンティア)、曹仁秋(東京ダイレック)、王 自発(中国大気物理研)、秋元 肇(地球フロンティア)
40	東京都における窒素酸化物の構成成分比(NO _x , HNO ₃ , NO ₃ ⁻ , NO _y)の季節変動	○ 福田真人、近藤豊、竹川暢之、森野悠、宮川拓真、茂木信宏(東大先端研)
41	エアロゾル質量分析計で測定された都市大気における有機エアロゾルの組成について	○ 宮川拓真、近藤豊、竹川暢之、駒崎雄一(東大先端研)、Jose-Luis Jimenez (University of Colorado)、John T. Jayne、Douglas R. Worsnop (Aerodyne Research Inc.)
42	炭素状エアロゾル測定法の比較	○ 茂木信宏、近藤 豊、駒崎雄一、竹川暢之、野上道守(東大先端研)
43	安定同位体比を用いた、都市域における非メタン炭化水素の挙動解明	○ 山本誠一郎 ¹ 、奈良秀樹 ^{1,2} 、吉田尚弘 ^{1,2,3} (1 東工大院総理工、2 科学技術振興機構、3 東工大フロンティア創造セ)
44	シベリア上空におけるN ₂ Oアイソトプマー比	○ 杉嶋亮作(東工大院総合理工)、豊田 栄(東工大院総合理工、科学技術振興機構)、吉田尚弘(東工大フロンティア・セ、科学技術振興機構)、中川 書子(北大院理)、井上 元(環境研)
45	森林における揮発性有機化合物とその酸化生成物の濃度変動について:2003年苫小牧フラックスサイトでの結果	○ 家田曜世(北大地球環境)、北森康之((株)エコニクス)、持田陸宏(北大低温研)、佐藤奏衣、伊澤祐輔(北大地球環境)、藤沼康実、犬飼孔(国立環境研)、河村公隆(北大低温研)
46	水溶性有機化合物の粒子/ガス相における分布と日変化:森林大気観測の結果	○ 北森康之((株)エコニクス)、持田陸宏、河村公隆(北大低温研)、佐藤奏衣、伊澤祐輔、家田曜世(北大地球環境)、藤沼康実、犬飼孔(国立環境研)
47	2003年夏期における都市大気中OHラジカル寿命観測	○ 吉野彩子(都立大院工)、定永靖宗(科学技術振興機構)、吉岡篤史(都立大院工)、渡邊敬祐(都立大工)、加藤俊吾(科学技術振興機構)、宮川祐子(都立大院工)、林一郎(都立大工)、市川雅子(都立大工)、松本淳(科学技術振興機構)、西山綾香(都立大院工)、秋山成樹(都立大工)、梶井克純(都立大院工)
48	化学摂動法を用いたOHラジカル大気寿命測定装置の開発	○ 渡邊敬祐(都立大工)、定永靖宗(科学技術振興機構)、吉野彩子(都立大院工)、吉岡篤史(都立大院工)、若園陽子(都立大工)、金谷有剛(地球フロンティア)、梶井克純(都立大院工)
49	レーザー誘起蛍光法による大気中NO ₃ /N ₂ O ₅ 測定装置の改良	○ 松本 淳(科技団・都立大工) 今井秀和・小杉如央・梶井克純(都立大工)
50	レーザー誘起蛍光法による大気中NO ₃ /N ₂ O ₅ 測定装置の校正法	松本 淳(科技団・都立大工)・○ 小杉如央・今井秀和・梶井克純(都立大工)
51	ガスクロマトグラフ/負イオン化学イオン化質量分析法を用いたC ₁ -C ₆ 有機硝酸類の同定とマスマススペクトルの特徴	○ 佐藤啓市、今村隆史、谷本浩志(国立環境研究所)
52	ABC-ASIA/APARE-IIプロジェクトにおけるオゾン測定国際相互比較	○ 谷本浩志、向井人史(国立環境研)
53	半導体型センサーを応用したメタン測定装置の開発	○ 須藤洋志、井上元(環境研)

54	Air-borne OPUSによる紫外分光観測: 三宅島SO ₂ の水平分布解析と他の観測 例との比較	○ 渡辺征春(JAXA/EORC)、奥村真一郎 (JAXA/EORC)、鈴木 睦(JAXA/EORC)、吉田重 臣(JAXA/EORC)、川上修司(JAXA/SPPD)、佐野 琢己(JAXA/EORC)、柴崎和夫(國學院大、 JAXA/EORC)、畠山史郎(NIES)、小川利紘
55	紫外域観測センサを用いた対流圏エアロ ゾル推定手法の研究 -GOMEデータと GLIデータの比較-	○ 山中のり子(奈良女大・院)、久慈誠(奈良女大)、 芝田由香里(奈良女大・院)、林田佐智子(奈良女 大・院)
56	大気中鉄化合物の分離と、赤外分光法に よる定性分析	○ 田畑勝弘、前田歩、丁子哲治、早川和一(富山 工業高専)、岩井政雄(金沢大薬)
57	FTIRによって観測された対流圏一酸化炭 素の季節変化とその要因	○ 小池真(東大理)、土井準(東大理)、近藤豊(東 大先端研)、松見豊(名大STE研)、中根英昭(国立 環境研)、村田功(東北大理)、梶井克純(都立 大)、加藤俊吾(都立大)
58	FT-IRによる大気微量成分高度分布観測 における装置関数補正の効果	○ 村田 功(東北大環境)、中根 英昭、中島 英 彰(環境研)、福西 浩(東北大理)
59	ポーカーフラット高分解能赤外分光計に より検出された上部成層圏 - 中間圏CO	○ 神代 剛(富士通FIP/CRL)、笠井康子(CRL)、 村山泰啓(CRL/NIPR)、遠藤真紀(東大・理)、 Nicholas B. Jones(Univ. of Wollongong)、Frank J. Murcray(Univ. of Denver)
60	Generation of O(1D) by the lightning- induced sprite events	○ 平木康隆(東北大理)、Tong Lizhu(東北大流体 研)、福西浩(東北大理)、南部健一(東北大流体 研)、笠井康子(通総研)、市村淳(宇宙研)
61	ILAS-IIから導出された成層圏オゾン、水 蒸気のデータ質評価	○ 杉田考史(国立環境研)、齋藤尚子(国立環境 研)、寺尾有希夫(国立環境研)、神沢博(名大院 環境)、中島英彰(国立環境研)、横田達也(国立 環境研)、小林博和(電力中央研、国立環境研)
62	ILAS-II可視消散係数データ質評価と 2003年冬季南極のPSCs発生状況につ いて	○ 齋藤尚子(国立環境研究所)、中島英彰(国立環 境研究所)、横田達也(国立環境研究所)、杉田考 史(国立環境研究所)、小林博和(電力中央研究 所、国立環境研究所)
63	ILASで得られたClONO ₂ とHALOEで得ら れたHClとの比率-オゾン、メタンとの関 係-	○ 戸田庸子、池田奈生、林田佐智子(奈良女 大)、中島英彰(環境研)
64	N ₂ O及びCH ₄ の吸収線パラメータの精密 測定 - ILAS-II ch.1に存在する吸収帯に ついて -	○ 田中智章、横田達也、中島英彰、笹野泰弘(国 立環境研究所)、深堀正志、青木忠生(気象研究 所)、渡邊猛(東レリサーチセンター)
65	中層大気における微量化学成分の太陽 周期変動シミュレーション	○ 関山剛・柴田清孝・出牛真・折戸光太郎・小寺 邦彦(気象研)
66	気象研究所化学輸送モデル(MJ98- CTM)の気候値 - 2つの異なる水平分解 能における比較 -	○ 出牛 真、柴田 清孝、関山 剛(気象研)
67	CCSR/NIES AGCM を用いた対流圏界面 における質量フラックスの見積り	○ 滝川雅之、秋元肇(地球フロンティア研究システ ム)、高橋正明(東大CCSR)
68	熱帯季節内振動にともなう対流活動の 5-10 日変動とその上部対流圏-成層圏 に与える影響	○ 庭野 将徳(京大理)、山本 真之、辻野 文剛、深 尾昌一郎(京大 RASC)
69	陸別ミリ波観測による成層圏オゾンの短 時間変動	○ 長浜智生、中根英昭、藤沼康実(国立環境 研)、森平淳志(富士通VLSI)、水野亮(名大 STE)、小川英夫(大阪府大)、福井康雄(名大院 理)
70	JEM/SMILES観測における感度解析	○ 高橋千賀子(FIP)、笠井康子、落合 啓(CRL)、 Carmen Verdes(University of Bremen)、Joachim Urban(University of Bordeaux)、JEM/SMILESミッ ションチーム(CRL,JAXA)

71	気球搭載型超伝導サブミリ波リム放射サウンドによるオゾン、ClOの観測	○入交芳久、真鍋武嗣、落合啓、増子治信(通総研)、山上隆正、斉藤芳隆、井筒直樹、並木道義(JAXA)
72	気球搭載型超伝導サブミリ波リム放射サウンドにより観測したオゾン、ClOサブミリ波リム放射の解析	○落合 啓、入交芳久、真鍋武嗣、辻丸 詔(通信総研)、高橋千賀子(富士通FIP)、村田 功(東北大)
73	ミリ波によるアラスカでの成層圏オゾン、ClO の観測	○落合 啓、入交芳久、瀬田益道、真鍋武嗣(通信総研)、稲谷順司、尾関博之(宇宙航空研究開発機構)
74	航空機搭載超伝導サブミリ波放射サウンドによりSMILES バンド帯域で観測した成層圏大気微量成分のデータ解析	○辻丸 詔(通信総研)、S.Buehler, C.Verdes, A.Kleinboehl (Uni. of Bremen), P. Eriksson (Chalmers Uni.)
75	二酸化硫黄のサブミリ波吸収プロファイルの圧力効果測定	○森野 勇(国立環境研)、山田 耕一(産総研)
76	衛星搭載用高速走査フーリエ変換分光計の性能評価結果	宮村典秀、○川島高弘、谷井純(NTスペース)、丹下義夫、久世暁彦、木村俊義、近藤賀代子、油井由香利(JAXA)
77	ILAS-IIチャンネル2領域に存在するCO ₂ 4.3ミクロン帯の室温及び低温下における吸収線パラメータ	○深堀正志、青木忠生(気象研)、渡邊猛(東レリサーチセンター)
78	ILAS-II新チャンネルにおける室温下のCH ₄ ν ₃ 帯吸収線パラメータ	○藤枝 鋼、深堀正志、青木忠生(気象研究所)、渡邊 猛(東レリサーチセンター)
79	大気中におけるハロゲン化アセトンの光分解過程	○島田博文 ^{1,2} , 猪俣敏 ¹ , 飛田成史 ² , 今村隆史 ¹ (¹ 国環研, ² 群馬大・工)
80	中層大気におけるO(1S)生成とその反応過程	○中山智喜、高橋けんし、松見豊(名大院理、名大STE研)
81	代替フロンCH ₃ CHF ₂ とClおよびOHとの気相大気化学反応	○竹谷文一、高橋けんし、松見豊(名大院理・名大STE研) 橋川裕一、川崎昌博(京大院工・京大地球環境学堂) T.J.Wallington, M.D.Hurley, M.P. Andersen(Ford Research Lab)
82	Atmospheric chemistry of CH ₃ CH ₂ F ₂ : mechanism of the CH ₃ CF ₂ O ₂ + HO ₂ reaction	○Y. Hashikawa, M. Kawasaki (Kyoto university), M.D. Hurley, T.J. Wallington (Ford Motor Company)
83	IO(一酸化ヨウ素)の新しい生成反応の発見	○江波進一(京大工) 上田純也(京大工) 後藤万佐司(京大地球環境) 中野幸夫(広島市大情報) 橋本訓(京大工) 川崎昌博(京大地球環境・京大工)